

「大学体育のゴルフ授業」 充実に向けた産学連携

2016年10月5日

一般社団法人 日本ゴルフ場経営者協会
専務理事 大石 順一

© 一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会

◆目次

1. ゴルフ界の現状
 - I. ゴルフ場利用税の課税状況からみたゴルフ場の数・利用者数等----③
 - II. 年齢別・スポーツの種類別行動者数及びグラフ-----④⑤
 - III. 普及活動のターゲット-----⑥

2. 「ゴルフ振興」中期目標と具体的活動指針-----⑦

3. 「大学のゴルフ授業」充実のための産学連携協定-----⑧
 - I. 連携協定締結の背景-----⑨
 - II. 直ちに実施可能な具体的施策例-----⑩
 - III. 「課題1」への対応策 《コースデビュープログラム「Gちゃれ」》-----⑪
 - IV. 当日のカリキュラム、実施風景-----⑫～⑭
 - IV. 「Gちゃれ参加者」アンケート-----⑮
 - VI. 今後の展開予定-----⑯

(参考資料・・「ゴルフ場利用税の課税状況からみたゴルフ場数・利用者数等」)

ゴルフ場利用税の課税状況からみたゴルフ場の数・利用者数等

(一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会)

	1993	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 (速報)
ゴルフ人口 (レジャー白書) (万人)	1,370	1,030	1,080	890	830	950	960	810	800	790	860	720	760
ゴルフ場数	2127	2,453	2,446	2,442	2,442	2,442	2,445	2,432	2,413	2,405	2,385	2,317	2,292
年間総来場者数 (千人)	99,364	85,307	86,046	88,235	89,020	90,786	91,642	88,061	84,327	86,745	86,746	86,505	88,003
内 非課税者数 (千人)	4,108	5,246	6,097	7,207	8,112	9,029	10,001	10,483	11,306	12,776	13,857	14,845	15,629
全利用者数に占める70 歳以上者の割合(%)	----	6.1	7.1	8.2	9.1	9.9	10.9	11.9	13.4	14.7	16.0	17.2	17.8
一人当たりの 年間プレー回数	7.25	8.28	7.97	9.91	10.73	9.56	9.55	10.87	10.54	10.98	10.09	12.01	11.58
1947年(S22)生 の年齢	46	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68

ゴルフ人口の大幅減に対し、年間総来場者数がそれほど減少していないのは、プレー料金が かなり安くなり、高年齢層を中心に年間プレー回数が増えたことが起因していると思われる。

それだけに団塊の世代の後期高齢者化は、とてつもない負のインパクトになることは間違いない。

年齢別、スポーツの種類別行動者数(単位:千人)

2011年

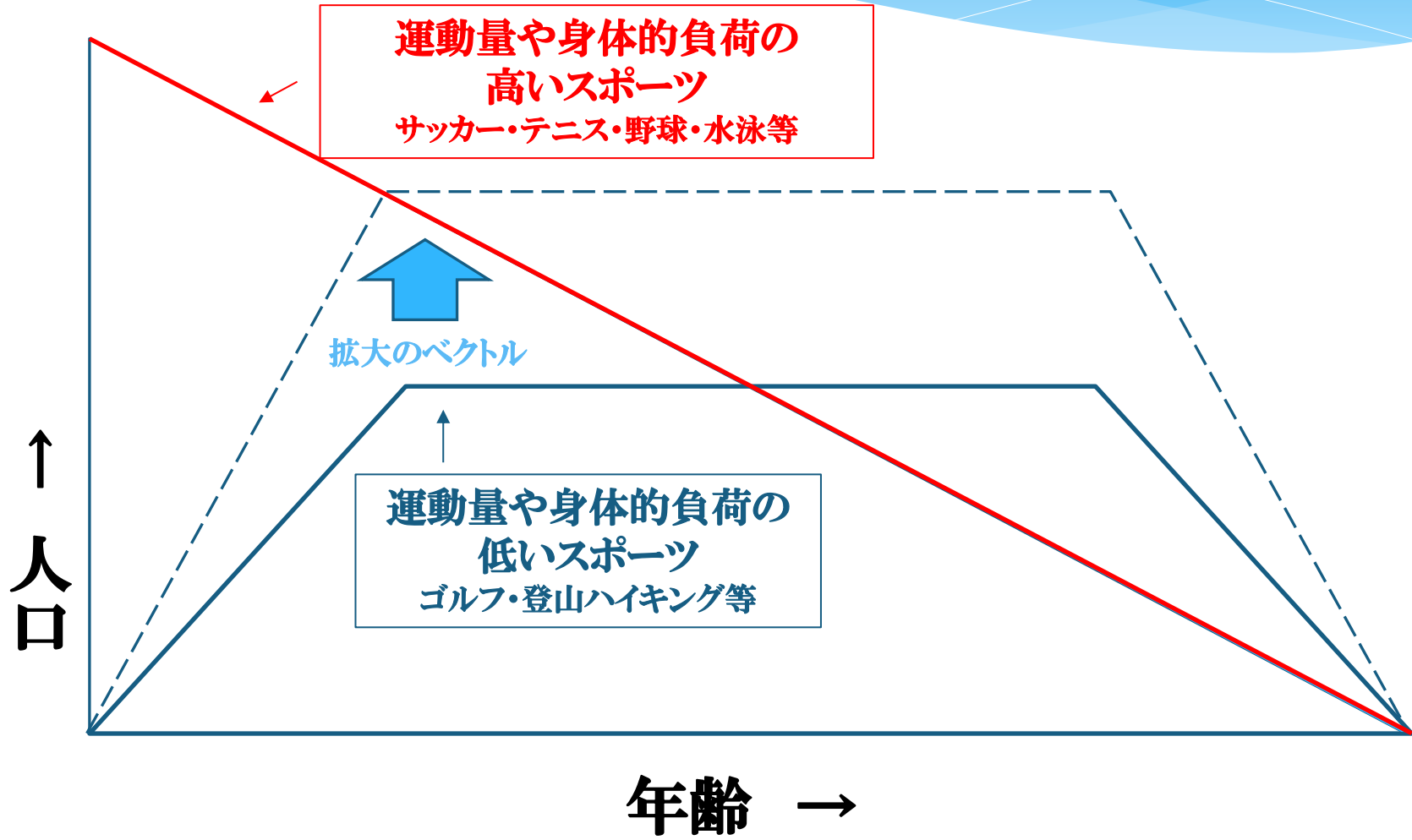
第22-1表

「2011年社会生活基本調査」より抜粋

	野 球 (キャッチ ボールを 含 む)	サッカー (フットサ ルを含む)	テニス	水 泳	ゴルフ (練習場 を含む)	登 山・ ハイキング	ジョギング ・マラソン
10～14歳	1,460	1,503	754	2,591	208	730	1,649
15～19歳	991	1,000	792	880	151	339	1,299
20～24歳	927	898	539	756	359	539	1,021
25～29歳	707	825	359	803	650	621	1,097
30～34歳	762	678	274	958	771	758	1,108
35～39歳	904	603	346	1,434	897	912	1,094
40～44歳	851	413	422	1,304	938	913	907
45～49歳	518	196	355	730	779	782	701
50～54歳	278	109	268	511	889	757	523
55～59歳	202	75	202	436	880	859	437
60～64歳	237	41	199	621	1,106	1,296	452
65～69歳	139	13	129	434	730	915	313
70～74歳	77	15	63	325	493	635	196
75歳以上	69	6	49	246	389	400	158
総数	8,122	6,375	4,750	12,030	9,240	10,457	10,956

- ◆運動量や身体的負荷の大きいスポーツは、10歳代と比較して20歳代になると半減する傾向にある。
- ◆逆に、ゴルフのように運動量や身体的負荷が他のスポーツに比較して軽度であると考えられる種目の実施人口は20歳代に増加している。
- ◆特にゴルフは、10歳代に比較して20歳代の実施人口が約3倍となっている。

年齢別、スポーツの種類別行動者数の グラフの特徴



《普及活動のターゲット》

- 投資効率のもっとも良い年齢層は「20代」
- 20代後半のゴルフ人口のボリュームが、将来のゴルフ人口を左右する。



現状維持するののでさえ、20代後半のゴルフ参加率を「10%程度に引き上げる」との目標値を定め、ゴルフ業界全体で取り組む。

2015年の参加率 (レジャー白書2016)

	年代	男性	女性	男女比5:5 とした平均
ゴルフ場	20代	6.0%	0.9%	3.5%
	30代	9.6%	1.1%	5.4%
ゴルフ 練習場	20代	7.4%	2.3%	4.9%
	30代	10.7%	4.0%	7.4%

「ゴルフ振興」中期目標（ゴルフ17団体） 20歳代後半～30歳代前半のゴルフ実施率を 10%強に引き上げる

【具体的活動方針】

「高校⇒大学⇒20歳代」と段階的な課題設定と連携強化

- ①「大学のゴルフ授業」充実に向けた連携協力の推進
(平成28年6月27日連携協定締結)
- ②「高等学校学習指導要領」の保健体育に「ターゲット型」を要望
- ③ゴルフ団体の連携強化
- ④ゴルフ関連企業の企画を援助推進 (リクルート「ゴルマジ」、楽天「楽ゴル」等)

年齢層を「20歳代後半～30歳代前半」にしたのは、最も投資効率が良い
(短期間でゴルファーに育成可能)ためである。

【「大学ゴルフ授業」充実のための産学連携協定締結】

「ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)」及び「日本プロゴルフ協会(PGA)」は、「全国大学体育連合」と下記の目的を達成するために産学連携協定を締結。

《目的》

「ゴルフ授業」の更なる充実を目指し、受講大学生の「ゴルフ」継続意欲を高め、生涯スポーツとしてのゴルフ実施率を向上させ、結果として、国民の健康寿命の延伸を図るとともに、ゴルフ関連産業の経営安定化と継続を実現し、地域社会の発展に貢献する

ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)構成団体

一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会

一般社団法人日本ゴルフ用品協会

公益財団法人日本ゴルフ協会

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟

日本ゴルフジャーナリスト協会

【連携協定締結の背景】

公益社団法人 全国大学体育連合
常務理事 北徹朗 武蔵野美術大学 准教授

「大学体育のゴルフ授業」は、大学生からは人気の高い授業科目。延べ約580授業が実施されており、年間約数万人～10万人が受講されていると推定される。

しかし、現状において下記の課題がある。

- 課題1 約580授業の大半が、学内施設のみとなっている。
コースデビューしていないため、受講学生のゴルフ継続意欲が低下。
- 課題2 「ゴルフ授業」で使用される「ゴルフクラブ」が古く、スペックがバラバラである。また、教場環境に適したゴルフ用具が少ない。
- 課題3 「ゴルフマナー」に関し、若年層とゴルフ場側に意識の相違がある。
- 課題4 授業を担当する大学教員の多くは、ゴルフが専門でないため、より良い 授業のためにはスキルアップが必要である。
- 課題5 ゴルフ並びにゴルフ産業の現状等について、受講大学生に知識教育が必要

【直ちに実施可能な具体的施策例】

課題1 を解決するために

「ゴルフ授業」受講修了者に対し、課外教育プログラムとして「コースデビュープログラム」を実施する。⇒ 企画名「Gちゃれ2016」

課題2 を解決するために

ゴルフ用品業界から「ゴルフクラブ」の無償提供を行う。
「(一社)日本ゴルフ用品協会」 1,599本準備⇒配布済数360本(H28.8月現在)

課題3 を解決するために

ゴルフ場業界と大学側との研究会を開催し、ガイドブック的なものを編纂する。
大学体育連合と日本ゴルフ場経営者協会との連携により、出版内容の検討を開始。

課題4 を解決するために

全国大学体育連合の研修会等に日本プロゴルフ協会所属プロを講師として派遣する。
大学授業で使用可能な「ゴルフ教則本(仮)」を日本プロゴルフ協会と大学との間で編纂を行う。尚、ティーチングプロの派遣可能な大学においては、特別講師として一部の授業を担当する。(6月7日、武蔵野美術大学の授業を特別講師として実施)

課題5 を解決するために

「コースデビュープログラム」実施時などのカリキュラムにゴルフ場側から講演を行う。

《コースデビュープログラム「Gちゃれ」》

* 愛称「Gちゃれ」とは

大学ゴルフ授業を受講した人向けの、課外教育プログラムです。
「G」には、ゴルフに関わるあらゆる用語の頭文字のイメージ
(Golf Green Gentleman Grass Grace 等々)が込められ、
参加した皆さんが Good Golfer になることを目指しております。

* 8月5日(金)、8月17日(水)

「八王子カントリークラブ」にて試験的实施

主催 大学ゴルフ授業研究会

協力 ・八王子カントリークラブ ・日本ゴルフ場経営者協会
・ゴルフ市場活性化委員会

参加者 男子20名・女子24名 (1日目・24名参加 2日目・20名参加)

参加学生 武蔵野美術大学・中央大学・明治大学・国際基督教大学

《当日のカリキュラム》

10:30 ①チェックインから始まるクラブハウスの利用方法

②オリエンテーション（本日のスケジュール確認）

③開催ゴルフ場の紹介

④講義

*ゴルフ場とはどんな場所か *ゴルフ場利用にあたってのマナー

11:30~ ⑤実習 1.ショット練習 2.アプローチ練習 3.パター練習（各15分）

⑥昼食 ラウンドにあたっての注意事項

13:30~ ⑦ラウンド開始

ラウンド実践については、スクランブル方式のプレーホールと
個人スコアでのホールをミックスさせて、
楽しさを実感してもらえよう実施。

（意欲向上を目的として団体戦と個人戦を行った。）

16:00~ ⑧ホールアウト（シャワー、着替え）

⑨表彰式 参加アンケートを実施して解散

《「Gちやれ」の一日風景》

① チェックイン等、クラブハウスの利用を实践



②③④ 開会式・オリエンテーション、及び座学研修



⑤ 練習 (ショット、アプローチ、パッティング)



《「Gちゃれ」の一日風景》

⑥ 昼食 ラウンドにあたっての注意事項



⑦ コースデビュー(1~4番ホール) ショットガンスタート



⑨ ふりかえり、閉会式



第3回・第4回 Gちゃれ参加者アンケート

Q1 Gちゃれに参加しての感想はいかがでしたか

※数値はパーセント

とても楽しかった	86.4	まあ楽しかった	13.6	あまり楽しくなかった	0.0	全く楽しくなかった	0.0
----------	------	---------	------	------------	-----	-----------	-----

Q2 Gちゃれに参加してゴルフに興味を持つようになりましたか

とても持つようになった	70.5	少しは持つようになった	29.5	あまり持たない	0.0	全く持たない	0.0
-------------	------	-------------	------	---------	-----	--------	-----

Q3 またゴルフ場でラウンドしたいと思いますか

強くそう思う	54.5	まあそう思う	43.2	あまりそう思わない	0.0	全くそう思わない	2.3
--------	------	--------	------	-----------	-----	----------	-----

Q4 今後、将来もゴルフを続けたいと思いますか

強くそう思う	25.0	まあそう思う	72.7	あまりそう思わない	0.0	全くそう思わない	2.3
--------	------	--------	------	-----------	-----	----------	-----

Q5 自分のゴルフクラブが欲しいと思いますか

自分のものが欲しい	29.5	借りられるのならそれでもよい	68.2	その他	2.3	クラブ購入し、Gちゃれ参加3回目	
-----------	------	----------------	------	-----	-----	------------------	--

Q6 Gちゃれのようなゴルフの企画があれば、参加したいと思いますか

強くそう思う	68.2	まあそう思う	29.5	あまりそう思わない	0.0	全くそう思わない	2.3
--------	------	--------	------	-----------	-----	----------	-----

今後の展開予定

1. コースデビュープログラム「Gちゃれ」の展開拡大
 - ◆ 下期受講者向け「Gちゃれ」の試験的開催・・関東2回、関西1回
 - ↓
 - 平成29年2月 「Gちゃれ」モデル発表 → 全国展開
 2. 大学ゴルフ授業向け、教材共同開発
 3. 「クラブの安全チェックリスト」の共同開発と啓発活動の実施
 - ◆ 武蔵野美術大学と用品メーカーとのギアデザイン共同開発
 4. 全国大学体育連合研修会(平成29年3月)での倉本昌弘PGA会長等の講演
- 等々